

遺伝を社会の話題に —遺伝リテラシーを育てる「ジェネカフェ」

<企画・進行> 滝澤公子（NPO法人遺伝カウンセリング・ジャパン理事）

<内容>

平成 22 年度科学技術推進機構(JST)地域の科学舎推進事業 草の根型プログラムの採択を受け、「遺伝現象やいのちについてのリテラシー育成をテーマとしたサイエンスカフェ」を、一般の市民が参加しやすい状況で実施しようと企画・活動を行った。第1回、2回、第4回の各活動には、企画者を中心に、お茶の水女子大学大学院生、認定遺伝カウンセラーらも助手として参加し、第3回、第5回は講師を交え、企画者が解説・司会進行して、様々な話題をテーマにして、「いのちのつながりと多様性」について話し合った。前半部に、遺伝に関する各回のテーマについて、解説・作業を通して知識を共有し、さらに後半部で講師や参加者同士が話し合いを行う構成とした。

<参加者の内訳>

未就学児	2 人
小学校低学年	7 人
小学校高学年	1 人
中・高校生	2 人
大学生等	9 人
大人の参加者	71 人
子どもの保護者	8 人
合計	100 人

<全活動リスト>

項番	活動日	活動名	実施場所	参加人数
1	2010 年 11 月 14 日	ジェネカフェ 遺伝を社会の話題に—ビデオを見て遺伝性疾患と結婚について語ろう	お茶の水女子大学	15
3	2010 年 11 月 21 日	ジェネカフェ 多様性を考える—紙芝居「いでんでんでん」と多様性の樹	国際交流館 プラザ平成	18
4	2010 年 12 月 19 日 (講師:石浦章一氏)	ジェネカフェ 親子のつながりを考える—親の知的能力は子に伝わるか	ポピンズアクティブラーニング	25

			スクール	
5	2011年01月28日	ジェネカフェ 遺伝の仕組みを知る—似てる？似てない？親子の不思議	ポピンズアクティブラーニングスクール	22
6	2011年02月13日 (コメンテータ:高田史男氏 室伏きみ子氏)	ジェネカフェ DTC 遺伝子検査を考える— 遺伝子ビジネスの今、何が分かる？確かなの？それって役立つの？	ポピンズアクティブラーニングスクール	20

<活動を終えて>

これまでの経験から、「人の遺伝」についての一般の人たちの理解度は低いと予想されたが、こうした場所に興味を持って足を運ぶ人たちからも、「初めて聞いた」「これまで知らなかった世界」などという感想が得られた。

人々の遺伝に対する知識を正確なものにして、自分達のいのちが生命の連続と多様性のなかで育まれていることに納得がゆけば、先端科学・医学に対する重要性の認識・関心を引き出すことができるであろう。さらに遺伝性疾患が特殊な家系のものではなく、誰にでも起こりうることを認識することにより、罹患者の受容や支援の心を育てることもできるだろうと考える。今回参加した高校生らが、「自分の責任ではない、偶然のことがらが重なって起こった結果で差別を受けることになるなんて、あってはならないと思う」という感想を述べたが、こうした深い認知が多くの人にあれば、社会の意識は大きく変容する。認定遺伝カウンセラーの活動としても、こうしたジェネカフェは適するものであると考える。さらに遺伝についてのリテラシー育成をテーマとするジェネカフェを展開していきたいとの意を強くした。